

エクイニクス中国法人のマネージング・ディレクターに Sainti Li (サンティ・リー: 李 聖智) が就任

- 30年に渡る ICT 業界での経験を活かし、中国における事業展開と次世代戦略を牽引-

香港-2014年3月18日-インターコネクションおよびデータセンターサービスをグローバルに展開するエクイニクス(Nasdaq: EQIX、日本法人代表取締役 古田敬、以下エクイニクス)は、本日 Sainti Li (サンティ・リー: 李 聖智) が新たにエクイニクス中国法人のマネージング・ディレクターに就任したことを発表いたします。Li は IDT Telecom、AT&T、IBM、Fujitsu-ICL、Siemens Nixdorf 等の ICT 業界のグローバル企業において 30 年以上にわたるテクニカルサポート、営業およびマーケティング、プロダクトマネジメント、事業開発および事業統括の経験を保有しています。エクイニクスは現在、上海において IBX データセンターを 4 拠点と、障害復旧用の施設を 1 拠点運営しており、Li を迎えることでさらなる中国国内における展開を推し進めていきます。

発表のハイライト

- Li は、中国企業に対し、エクイニクスの価値と同社データセンターを活用していかかにグローバル展開に役立てるかを訴求する役割を担います。エクイニクスはすでに [ChinaCache](#) や [Tencent](#) といった中国企業にサービスを提供しグローバル展開を支えています。
- Li は直近では、IDT Telecom アジア・パシフィックにおいてオーストラリアの小売部門の統括として、国際音声通話サービス、新サービス、ならびに配信プラットフォーム “Boss Revolution” の立ち上げを担っていました。
- IDT Telecom 以前は、AT&T アジア・パシフィックおよび IBM 中国- 香港において 15 年にわたりグローバルネットワークとデータセンターのアウトソーシングサービスのグローバル多国籍企業に対する営業活動に携わっていました。AT&T では、AT&T 中国のジェネラル・マネージャーおよび営業統括本部長として中国、香港、台湾の全域を統括していました。
- さらに AT&T 在籍中には、AT&T、China Telecom および Shanghai Information Investment の 3 社による、中国テレコム企業としては初の外資系企業と中国企業によるジョイントベンチャーである Shanghai Symphony Telecom の立ち上げに 5 年間携わりました。

コメント

- エクイニクス・アジア・パシフィック プレジデント Samuel Lee (サミュエル・リー) : 「中国の新たなマネージング・ディレクターとして、Sainti Li が就任したことを大変うれしく思います。ここ数年で、我々は中国に大規模な投資をしてきており、世界中のお客様からの中国市場に対する需要は上昇し続けています。Li は IT および通信業界において深い知

識を持ち、さらに中国市場における長年の経験は、当社の成長を加速し、お客様の成功を支援するのに極めて重要です。」

- **エクイニクス中国法人 マネージング・ディレクター Sainti Li (サンティ・リー: 李 聖智):**
「中国におけるクラウド、モバイル、ビッグデータという潮流と、上海を 2020 年までに国際金融市場の中心にしようという動きが、エクイニクスの金融、クラウド、および企業向けビジネスの拡大を後押ししています。中国はアジア・パフィニック地域でも最も急成長している市場の一つであり、多国籍企業にとっても重要な市場となっています。これまでの経験を活かしていきたいと考えています。」

Equinix について

Equinix, Inc. (Nasdaq: EQIX) は、世界で最もネットワーク密度の高いデータセンターにおいて、4,500 社以上の顧客企業、ならびにパートナー企業との間で、相互接続できる環境を提供しております。現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋における 32 の戦略的都市において、世界の様々な企業に Equinix のインターコネクションプラットフォームを活用していただいています。詳細は、<http://www.equinix.co.jp> をご覧ください。

将来の見通しに関する記述について

本ニュース・リリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、IBX センターの取得、運営および建設上の問題、Equinix のサービスに関する開発、設置、および提供上の問題、既に関してあり、または今後買収する予定の企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、新たに開設ないし取得したデータセンターにおける顧客からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の実行未遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュ・フロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要顧客とのビジネスにおける損失あるいは減退、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください (ご要望に応じ、Equinix, Inc. より入手可能です)。エクイニクスは、このニュース・リリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

Equinix および IBX は、Equinix, Inc. の登録商標です。International Business Exchange は、Equinix, Inc. の商標です。

###

本リリースに関するお問合せ

株式会社トウキョウ ブランディング シーメディア

海藤 みどり

TEL: 090-9309-6125

Email: mkaito@tokyobcm.jp